

教育課程又は教員組織に関する重要な変更に対する評価結果への付記事項

経営系専門職大学院名	認証評価申請年度	認証評価時の認定
同志社大学大学院 ビジネス研究科 ビジネス専攻	2008（平成20）年度	適合

経営系専門職大学院基準 の大項目	経営系専門職大学院基準の評価の視点	付記事項	
		<変更前>	<変更後>
2 教育の内容・ 方法・成果	<p>【教育課程の編成】 2-9 専門職学位課程制度の目的ならびに当該経営系専門職大学院固有の目的を達成するためにふさわしい授業科目が開設されているか。（「専門職」第6条）</p>	<p><変更前> 全体的な編成に関しては、貴専攻の教育目標を踏まえ、「基礎科目」（9科目）、「専門科目」（19科目）、「発展科目」（40科目）に区分した合計68科目にわたる3つの科目群を設定し、社会人学生の多様なニーズに対応し、学生が希求するプロフェッション領域に応じた基礎力・専門力・高度な応用展開力の具備を可能とする体系的・段階的な学習が施せるように配慮されている。また、体系的・段階的学習の到達点として「プロジェクト研究」と「ソリューションレポート」が位置づけられており、レベル検証が可能な教育課程が編成されている。</p> <p>ただし、提供する科目として、最小限必要な科目は備わっているものの、基礎科目あるいは専門科目の一部において、ビジネスに必要な組織論・人的資源あるいは生産といった分野について、今後より一層、整備していくことが望まれる。</p> <p>国際的視野の涵養に関しては、基礎科目の「企業の社会的・国際的役割」において、取り組んでいる。また、そのほかの多くの関連科目の中に倫理観および国際性涵養の視点を盛り込むことで対応しており、教育による国際的素養の涵養については、学生自身が自立した人格と広い知見の形成に基礎をおくプロフェッショナルとしての自覚を有しているという前提条件を備えたうえで、国際要素を含む具体的事例やテーマについて多面的な視点を学ぶことにより初めて可能となるものである。その点において貴専攻の取り組みは、適切なものとなっている。今後は、志願者数の低下および定員割れという状況の改善のため、強い危機意識を持って、さらに魅力あるカリキュラムを提供する必要がある。</p>	<p><変更後> <変更前>と同じ 2009（平成21）年秋学期より英語のみで授業を行うグローバルMBAコースを開設し、2012（平成24）年度より、履修方法は、グローバルMBAコース科目中、CORE18単位以上およびGLOBAL INTENSIVEから4単位以上履修し、Project and Solution Research I・IIを含めて、46単位以上履修することとなった。また、International Alliance Scheme Subjects 1～4を履修する場合、10単位まで課程修了に必要な単位数に含めることができることとなった。ただし、International Alliance Scheme Subjects 1～4の履修については、指導教員の承認を得ることとなっている。なお、MBAコース科目を履修する場合、10単位まで課程修了に必要な単位数に含めることが可能であり、MBAコース科目の履修については、担当教員の承認を得ることとなっている。外国人留学生については、日本語・日本文化教育科目を履修することができることとなっているが、課程修了に必要な単位数には含めないこととしている。</p>